



【 会 長 の 挨拶 】



押上一丁目仲町会
町会長高橋邦夫

町会の皆様におかれましては、このところ寒暖の差が激しい毎日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今年の春は、特に天候不順で例年に無い厳しい寒さを感じさせられます。とは言え桜の花は、陽の長さを確実に把握し寒さに負けずきれいに咲き誇っています。

町会の皆様には、いつも町会の運営にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

早いもので今年も年度末を迎えましたが、事業部の皆様にはその取りまとめで忙しい事と存じます。

さて今年も例年の通り、三月十九日に墨田中学校、また三月二十五日には業平小学校の卒業式が盛大に執り行われましたが、当町会からは業平小学校の卒業生が一名でした。少子化とはいえ、寂しい思いが致します。

この三月二十九日は、東京スカイツリーの高さが三百三十八メートルになり、東京タワーの三百三十三メートルを超えた歴史的な日となりました。ますます見学者で賑わうこの頃ですが、くれぐれも交通事故に遭わぬようご注意ください。

景気の悪い時勢ですが、押上は東京スカイツリー効果が期待出来る場所でもあります。今までとは異なる

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第四十四号

平成二十二年三月三十一日

トラブルに遭う事も考えられますので、下町の町会でも、新たな対応が必要になりました。

来年度も、町会の皆様には押上一丁目仲町会の発展のために、ご協力の程お願い申し上げます。町会長として、新年度を迎えるにあたり決意も新たに、変わる地元「押上」のために努力する一年に致します。

【 総 務 部 】

大橋由明

平成二十一年度も最後になりましたが、町会内の皆様には大変お世話になり、特に地区部長には「回覧」等で、ご多忙の折、毎日の如くお願いいし大変申し訳なく思いました。ご協力を頂き深く感謝を申し上げます。来年度は町会役員の大変な改選もなると聞いております。また、飛木稲荷神社の大祭の年にあたり、初夏からその準備に入りたいと思っておりますので、その節には皆様のご協力とご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。

【 婦 人 会 】

大橋祥子

いつも廃品回収にご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。また、春から初夏にかけて、日帰り

旅行も計画したいと思っておりますので、ご希望等ありましたら、どんなお知らせください。決定次第ご通知申し上げますので、その節には、皆様の多数のご参加を心からお待ちしております。

【 軍 港 め ぐ り 】

沖山泰則

三月十三日(土)天気は快晴、空は真青、吾輩は晴れ男である。今日は恒例の墨中地区育成委員会主催のバス研です。総勢五十人当町会からは私と安藤(婦)さんの二人が参加しました。

朝八時に墨中前を出発し、すぐに高速道路に入り大した渋滞もなく順調に川崎横浜を通過して一時間半程で最初の研修場所、浦賀の叶神社に到着しました。叶神社は川を挟んで西の神社、東の神社が向かい合うように位置しています。源氏の再興を



叶神社ホームページより掲載

願って京都の岩清水八幡宮の心霊を迎えたことに始まると云われ、その後頼朝によつてその願いが叶ったことから叶大明神と呼ばれ願ひ事が叶うという風説が生まれたようです。偶然、十二日(金)のNHKテレビの某番組でこの神社紹介されたそうです。その中で西の神社の勾玉を東の神社のお守り袋に入れて願ひ事をするという願ひ事が叶うという風説が今に伝わっているとの事です。風説にからつきし弱い拙者はすぐに両方を買って求め沖山家の再興?を願ったのでした。

神社の裏には小高い山がありまして階段を二百段程上りますと、浦賀水道を一望に見渡せる頂上に出ます。そこには勝海舟が咸臨丸でアメリカへ出向する前に断食した場所が大事に保存されていました。

バスは観音崎に向けて走り出しました。岬めぐりのバスは走る窓に広がる青い海よー、歌の文句をおもわず口ずさんでしまうような爽快な気分でした。でっかく果てしなく広い海は眺めているだけで私達の心を癒し和ませてくれるのです。

浦賀水道に沿って二十分走りますと、昼食予定地である観音崎京急ホテルに到着しました。昼食はバイキングでした。上等な食材、美味な料理の数々、食って食って又食ってウメーノ、ウメクネーノって：食い過ぎたー！

ホテルのすぐ近くに谷内六郎美術館がありました。懐かしかったので入館してみました。週刊新潮の表紙を一千号以上も飾ったその絵には一枚一枚見覚えがありました。日本の原風景の中で四季折々に生活する動物や人間を優しく描いた、その絵には、日本人なら誰でも一度は愛唱す

る「ふるさと」のメロディが全作品を貫いているように思えます。

さあーで、腹も一杯になったし、あとはバスの中で寝て帰るだけ。いえいえそれは成りませぬ。これからが本番だぞー。うたたねをしている中にバスは軍港めぐりの乗船場になつている汐入棧橋に到着しました。隅田川の遊覧船と型も大きさも同じ様なシーフレンドV号に乗りこみ十分程すると右手に米海軍第七艦隊基地が見え始めます。そこには潜水艦一隻、少し奥隣りに新聞やテレビでよく目にするイージス艦が二隻停泊していました。

最新兵器をいくつも積載している割には思っていた程、大型ではなかったのが意外でした。しかしながら突然に巨艦が見え始め真近でその全体を見たときには、なんだこりゃー?!あの竜馬はんも、オツタマゲタゼよ!、連れておいらも、ブツタマゲタゼよ、ただただ圧倒されて呆然と見上げるばかりでした。

高さビル十六階、全長三百三十三m、乗組員六千四百人、巨大空母ジョージワシントン号です。ため息まじりの興奮が冷めやらぬ中にクルージングは折返し、まもなく海上自衛隊司令部が見え始め、そこに護衛艦二隻と十二機のヘリコプターが同時に離発着出来る掃海艇が一隻停泊していました。まもなく四十五分間のクルージングは無事終了致しました。

横須賀港内では米海軍基地の華やかさと比べると海上自衛隊は何となく肩身の狭い思いをしていると感じました。

お天気に恵まれイージス艦、ジョージワシントン号にも出会えた幸運な一日でした。

【秩父札所めぐり(5)】

石田輝雄

今迄歩いて来た道を其のまま進む。しばらく歩いた右手に協栄プラスチック工場の建物。教えて頂いた通り其の処を左折する。右側は赤い頭巾をかぶった高い台座の地藏尊がある。安政四年(一八五七年)と刻名されていた。坂道を登る両側には聖観世音菩薩と染めぬかれた赤いのぼりが数十本も立っている。左手に茅葺の仁王門。仁王門に安置されている仁王尊は童子堂にふさわしく、ほほえましい仁王尊だ。

十三時三十分着。此の寺は寺伝によると淳和天皇(八二三〜八三三年)の弟に当る伊予親王の菩提を弔う為大同二年(八〇七年) 遍照僧正が此の地の領主に命じて堂宇を建立させ本尊を安置したのが始まりとか。其の後、延喜十五年(九一五年)天然痘が流行した為、山奥にあった堂宇を里に近い北川の地に移し観世音にその平癒を祈願した。子供達の間に蔓延していた天然痘はその力を失ってしまった。それ以来病魔に侵された子供達は観世音に祈って救われるようになり童子堂の名が生まれたと言う。

此のお堂は極彩色に色取られたもので職人等の信仰が多いとの事だ。二十二番札所 西陽山栄福寺「童子堂」(真言宗)御本尊は聖観世音菩薩。

童子堂を出てプラスチック工場の在る道路へ出て左に進む。何と無く空模様が怪しくなってきた。雨になりそうな予感がする。二百メートル程進んだ左角に久保田商店と言う雑貨店のお店。其の十字路を右へ曲がる事にす。此の道路は立派な舗装道路だが山間部の為大きく蛇行している。私達は突切って登って行く訳。登り始めて驚いた。ものすごい急勾配である。四十五度はあるだろう。だが然し秩父

盆地の眼下の眺望は絶景絶景。

天長の頃(八二四〜八三三) 自寛大師が関東各地を巡錫している時、山路を切開いて登ろうとしたら小鹿が現われ、大師の先に立って山上へ導いた。そこで小鹿坂の名がつけられたと言われている。十四時十分到着し記帳して頂き、御住職に聞いて本堂に向かう。左手の急な石段を登ると屋根の上に宝珠をいただいた朱塗りの本堂があった。寺伝によると田村の円福寺二世南岩天陽が応永十九年(一四一四年)荒廃した寺を再興したと言われる。

本堂左手に六地藏。右前に鐘楼がある。明和五年(一七六八年)旧材を使って再築したのが現在の鏡と言われている。明治十七年十月製糸を副業としていた秩父地方の農民が経済的な変動によって借金が嵩み悪徳な高利貸しの横暴に憤慨して暴動を起こし、小鹿野坂峠から音楽寺に入り此の梵鐘を打ち鳴らして秩父市内に乱入した。(参加者三千人と言われている)世に秩父事件と言われている。

二十三番札所 松風山音楽寺(臨濟宗) 御本尊は聖観世音菩薩。風が冷たい。登って来た急勾配を今度は下る。下り始めて早々とうとう雨が落ちてきた。しかも大粒だ。樹木が多いので大して濡れはしないが、急に雨具の用意が無いので困った。何とか下り終えて先の久保田商店の所まで来た。お店に入って鉄を貸して頂きレジャーシートを半分に分ける。雨合羽の代用を背にはおる。帽子はかぶっている。頭は濡れないが何ともサマにならない格好ではある。

出発進行。二十四番寺を目指す。今日のお寺さんでは一番距離があり、三・五kmはあるだろう。良い塩梅に歩いている間に一応雨は上がった。進む下は荒川。佐久良橋が見える。四十五分程歩いて漸く右側に自然石が二基

並んでいる。二十四番寺の入り口に着いた。今回の札所めぐりでは一番歩いたのに何と眼前に真直ぐ空へ伸びた百六十段の石段、之を登らなければ本堂へは着かない。フーフー言いながら漸く本堂へ到着。

十五時五分。此の本堂は江戸中期の建築の由だが如何にも寂しい。寺伝によると養老元年泰澄法師が此の地を訪れた時法師は枯れ木を三つに切つて其の一つで聖観音を刻まれた。其の時三枝の神が現れその中に白山姫も含まれていた事から白山観音とも呼ばれている。

法師は余った木で箸を作り諸人に与えた。その箸が万病に効くとの事から此の寺は女性の願い事を叶えてくれる霊場であるとの伝説も生まれた。

二十四番札所 光智山法泉寺(臨濟宗) 御本尊は聖観世音菩薩。石段を下り右角の茶店で一休みする。茶店は一寸した地元の土産品等も商っている。店主は感じの良いおばさんだ。空がより暗くなってきた。之から西武秩父駅迄もう一歩きする予定だったが何とも雨が心配になる。あきらめる事にしよう。

おばさんに頼んだら気持ち良くタクシーを呼んでくれた。礼を言い、タクシーに駅まで行ってもらう。佐久良橋の旧橋を渡り市内へ出駅まで約二十分足らず。車はやはり早いね！

【しらとり子供会】

しらとり子供会ではこの春、卒業生一名(転出家庭含めると二名)、新一年生が一名です、おめでとございます。先日はメンバー全員が親子揃って楽しく歓送迎会を行うことができました。

さて四月の新学期からは、いよいよ二世帯となってまいります。現実的に子供会行事を行うことは難しく、長い歴史を振り返ると大変寂しいことでは

が、休会の状態に入ることとなります(子供会会員が五世帯を超えた時点で登校班を含め再開を予定しています)。

具体的な行事としては、夏休みのラジオ体操、お祭りの模擬店ですが、二名ではお手伝い程度にしかならないといった状況です(御神輿の小学生参加人数も減少が予想されます)。

つきましては皆様のご協力なくしては、この二つの行事の継続は難しい状況である事ご理解の程お願い申し上げます。

振り返りますとこの一年は新型インフルエンザや登校班合併など初めての問題も多く、最後までお詫びやお願いばかりでしたが、皆様には大変助けて頂きお世話になりました、ありがとうございました。

【O S T】

O S Tの皆様お元気でいらつしやいますか。暑さ寒さも彼岸までとはよく言いますが、今年はずかかたり、寒かたりと不順な気候でした。三月二十八日は誕生会で誕生の方が七名も出席して下さい、全員二十八名と大変賑やかに開かれお菓子を食べたり、お喋りをして終わる頃にビンゴゲームをして皆さん喜んでお帰りになりました。それから六月に行われる演芸大会の歌の練習も始まりました。

五月には総会もあります。その後誕生会もしますので皆さんお誘い合わせの上

ご出席下さいませ。

【交 通 部】

今年も、四月六日より十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が行われます。メインスローガンは、「やさしさが走るこの街この道路」運動の基本は、

- ① 子どもの高齢者の交通事故防止
 - ② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ③ 自転車の安全利用の推進
 - ④ 飲酒運転の根絶
- ④ 二輪車の交通事故防止
以上の点をご理解いただいた上で、力を入れて行きますので、皆様のご協力、よろしくお願い致します。

また、区民交通傷害保険の申し込み(三十九世帯九十五名)ご協力ありがとうございます。書面にてお礼申し上げます。

【編 集 後 記】

押上駅前通りの呼び方を「634(むさし)押上通り」に改名しようという声がある。今更、山口ガーデン通りと言われても何の事やら・・・。通称なので、問題は無いだろう。この提案者のセンスは洒落ていると思うが如何だろうか。



東京スカイツリーが338mになり、日本一の高さとかなりました